

株式会社キャム
所在地：下都賀郡壬生町
従業員数：240名（国内）

外国人材受入れ事例

製造業

とちぎ外国人材活用促進協議会

外国人の受入状況 2020年11月現在

- 技術・人文知識・国際業務のマレーシア人1名を受入れ中（2017年6月から受入れ開始）
- 技能実習のベトナム人6名を受入れ中（2019年6月から受入れ開始）
- 企業内転勤のベトナム人1名を受入れ中（2018年10月から受入れ開始）



外国人受入れの目的・理由

- ・技術・人文知識・国際業務のマレーシア人については、4カ国語に長けており、海外業務や翻訳等、語学力を駆使した業務での活躍を見込み採用。
- ・若手の採用状況が芳しくなかったことから、技能実習生のベトナム人を受け入れた。また、企業内転勤のベトナム人は、優れた技術を持っていたため、設計業務等での活躍を期待し、現地法人子会社の金型設計部署から転勤させたもの。

外国人の採用方法

- ・技能実習生については、監理団体を通じてベトナムに出向き面接。採用決定後は、現地の実家にも訪問した。
- ・技術・人文知識・国際業務のマレーシア人は、人材紹介会社を通して採用。また、企業内転勤のベトナム人は、現地法人子会社の人材を日本に異動させた。

受入企業の声

- ・技能実習生については、いかに良いコミュニケーションが取れるかに尽きる。また、公平さを持って処遇し、本人達にとって良いことも悪いことも正直にディスクローズする企業スタンスが重要であると考えている。
- ・また、実習期間を修了し、帰国してしまう場合を見据え、当社の現地法人での雇用の機会を用意し、本人達のモチベーションの維持・向上に努めている。
- ・技術・人文知識・国際業務のマレーシア人については、語学に長けているため、いずれは日本と海外を股に掛け、幅広く活躍してもらいたいと考えている。

受入れや定着を進めるにあたっての工夫

- ・社会保険料の給与天引きについて、疑問を持つ外国人従業員が多いことから、その理由や仕組みについて、自前の資料を作成し、通訳を同席させ説明を行っている。
- ・技能実習生には、実習期間の修了後も見据えてもらうため、技能実習3号又は特定技能への移行等の選択肢を提示し、会社の考えを伝えている。その際、特定技能に変更する場合は、賞与の支給があること、転職が可能になること、寮の家賃を日本人従業員と同等にするため値上げすることなど、技能実習時と扱いが変わることを明確に説明している。
- ・技能実習生は給与のほとんどをベトナムに送金して、手元にわずかな額しか残さないため、昼食を抜く傾向にある。体調面で心配があるため、昼食は会社負担とし、無料で提供している。

外国人本人の声（「技術・人文知識・国際業務」のマレーシア人の方）

- ・日本への留学経験から、日本に興味を持つようになり、千葉県の大学院に進学した。卒業後は、自動車関連会社や英会話教室で働いたが、自分の持つ語学力を活かしたいと考え、現在の会社に転職した。
- ・現在は勉強も兼ねて総務部に所属しているが、いずれは営業として、海外を相手に活躍したいと考えている。
- ・将来は、マレーシアにいる母を日本に連れてきたいと考えている。現在は、N1の取得に向けて日本語を勉強している。
- ・日本語や業務に不慣れな部分があるが、周りの方々がサポートしてくれるので、ありがたいと感じている。

